

広報 伊方町

発行所 伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-001 伊方局38-0211
編集長 室
印刷所 豊
社 八幡浜市松柏 22-0144



中西高成さん、放流される車エビ



車エビ放流

【町見漁協】

人がいて

- 夢がわき
- 流れが変わり
- 新しい町が
- つくられる

今月の紙面

二面……大成沖にサメ出現 漁船を襲う
 三面……第一四九回定例町議会だより
 九町に公営住宅
 民話と伝説「鶴来島で暮らした森蔵」
 四面……年金の支払い日は8月14日
 歳時記「逃げ水」

7月30日、町見漁協（重岡雅樹組合長）は、鳥津漁港で約15日間、車エビを中間育成し、当漁港の沖合、水深5〜6メートルの地点に放流しました。

育成

6月16日、成長した車エビは、約11万7千匹（栽培漁業センター調査）。鳥津漁港に設置されている直径8メートルの円型水槽に、車エビの稚魚、約15万匹が専用トラックで愛媛県栽培漁業センターから運ばれてきました。この施設は、今年の2月末、鳥津漁港の埋立地を利用してつくられた種苗中間育成施設で総工費は433万8千円を投入して造られたものです。早速、水槽の中に移された車エビは、わずか体長2センチ足らず。町見漁協では、朝夕の2回ずつ餌を与え、約2週間育成した後、放流することになっています。

放流

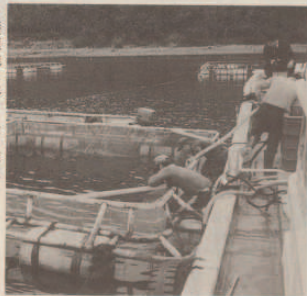
7月3日、円型水槽の中で平均体長3.75センチに



伊方町漁協でもマダイを

伊方町漁協（清水福道組合長）でも、マダイの放流が行なわれました。

6月15日、専用トラックで運ばれてきた稚魚は、2万5千匹。体長約2〜2.5センチのこの稚魚は、近くの漁業関係者の手によって中間育成され、7月24日に放流されました。



養殖池に移される稚魚

消防職員を募集中

八幡浜地区施設事務組合

八幡浜地区施設事務組合では、来年4月1日付で採用する消防職員を募集しています。この施設は八幡浜市及び西宇和郡5町で組織されており、急救・消防業務などを行っています。

今回の採用予定人員は6人。受験資格や申し込み方法など詳しいことは役場総務課までお問い合わせください。また、受付期間は9月4日までとなっています。

消防団役員替わる

団長に菊池さん

4月1日付で、伊方町消防団の本部役員が変わりました。任期満了に伴う役員改選によるもので、団長には、菊池孝平さん（西42歳）が昇格、副団長は、2人増員され、兵頭照正さん（伊方越）、井田繁さん（堀内利和さん（向）、三好昇一さん（湊浦）の4人が、それぞれ選任されました。また、本部員の補充もあり、新役員体制は次のとおりとなりました。

今度、新しく団長に就任された菊池さんは、昭和44年6月に町消防団員となり、昭和56年4月に本部に入り、昭和60年4月からの7年間、本部の副団長を務めており、消防歴23年という超ベテランです。

なお、副団長の皆さんも平均年齢44歳、消防歴15年以上という消防活動の第一線をいく人たちがかりです。今後の活躍が期待されます。また、団長7年間をはじめ23年間にわたり、町消防団の指導員としてご尽力いただきました三好昇一さんは勇退、副団長の波戸福一郎さん、本部員の井上吉雄さんとも退任されました。長年の労苦に対し、感謝の意を表したいと思います。火災はちよつとした不注意から発生します。ひとりひとりが普段から心がけ、多忙でないことを祈りたいものです。（敬称略）



菊池孝平団長

- | | |
|----------|------|
| 副団長（本部長） | 堀内利和 |
| 副団長（本部長） | 向 |
| 副団長 | 湊浦 |
| 副団長 | 三好昇一 |
| 本部員 | 川永田 |
| 本部員 | 吉川保吉 |
| 本部員 | 大浜 |
| 本部員 | 木戸洋一 |
| 本部員 | 久保 |
| 本部員 | 松田光一 |
| 本部員 | 小中浦 |
| 本部員 | 大通悦哉 |

大成沖にサメ出現 漁船を襲う

6月17日、大成沖で、アジの操業準備をしていた漁船が大サメに襲われるという事故が発生。町見漁協は、早速、捕獲作戦を開始しました。その模様や対策などを追ってみました。

サメ襲撃

今年3月、松山市沖で潜水員がサメに襲われ行方不明になった事故から3か月後の6月17日、本町大成から北西約10キロの海上で、アジの1本釣りをしていた上田好明さん(71歳)の漁船(0.4ト)が、ホジロサメと思われる体長約5メートルの大サメに襲われるという事故が発生しました。



ホジロサメに襲われた上田さんと船

た上田さんには、直接被害はなかったものの、漁船には、四十数カ所にわたり、サメが噛みついたと思われる歯の跡が生々しく残っていました。上田さんは、その時の模様を次のように話していました。「30年余りも漁をしてきましたが、漁船を襲うのは、この日、二度目のアジ釣りに出た。そして、漁場に着き、準備をしていたところ、いきなり、ガツーン」と大きな音を

捕獲作戦

町見漁協(重岡雅樹組合長)では、4月末までサメの捕獲に使用していたはえ縄をひとまわり大きいものに切り替え、サメの捕獲を再開しました。

6月20日・21日の両日、漁協の役員約20人が朝早くから島津漁港に集まり、仕掛けのはえ縄を修理、長さ約100メートルのロープに10メートルの間隔に約13センチメートルの針を取り付けました。

22日に、今回の襲撃や目撃情報が非常に浅い所であることから、水深5メートルから6メートルの地点に、サバ・アジなどの生きえさを取り付け設置しました。毎日、3回から4回、各漁民が交代で見張りを行っていました。

捕獲中止

途中、魚だけでなく、牛肉や馬肉などにえさを取り替えるなど、いろいろな工夫をしましたが、サメの近寄ってきた様子がないことから、7月3日、サメの捕獲作戦を中止しました。



サメ捕獲準備をする漁業関係者

サメには気をつけて

サメによる事故を防止するため、遊泳者もとり、漁業関係者、海中工事関係者など海を利用する方は、十分注意が必要です。

サメの攻撃から身を守るには

◎遊泳・潜水などをする際の注意事項

一人て岸から離れて遠くへ行かないこと、一人では時は、グループにいる時と比べてサメに襲われやすい。明るく目立つコントラストの強い水着やウェットスーツなどは、サメの襲撃を受けることがあるので避ける。サメは、一般に夕方や夜に、より活動的になるので、この時間帯にはできるだけ泳いだり潜ったりしない。岸や船から水中に入る際は、必ず周囲にサメがいないか、よく注意する。

女性は、生理の時には泳いだり潜ったりしない。ペットと一緒に泳がない。サメの嗅覚を刺激する恐れがある。◎遊泳・潜水などをする場所の注意事項

極端に濁った水や、透明度の悪い海では泳いだり、潜つたりしない。見通しの悪い所で泳いだり、潜つたりするサメの出現に気づくのが遅くなる。沖合や海峡、海底の急峻な所では泳いだり、潜つたりする可能性がある。大型のサメが出現している場合、下流に流れていく海域では泳いだり、潜つたりしない。サメを引き付ける恐れがある。

◎遊泳・潜水などをする際の注意事項

遊泳・潜水などをする際は、サメから身を守るには、サメの襲撃を受けると、出血や怪我、さらには命を失う危険があります。サメは、血の臭いには敏感で、多くの人間襲撃事件があります。また、血の臭いには敏感であり、金紙や銀紙で作ったお星様を頭につけ、「わが家の七夕」と題して、ミニスケル講演、3・4

ホジロサメについて



潜水する際は、サメから身を守る道具を携帯しておく。例：木、グラスファイバー、金属製の棒(長さ1.2m程度)、水中銃、アワビ用鉤、ナイフ、ハンマー状のもの。サメの危険が予想される海域で潜水活動を行わざるを得ない場合は、防護カゴを使用する。

世界の亜熱帯から温帯にかけての沖合から沿岸(一般に水面温度11℃から24℃の間)に、幅広く生息しています。北米西海岸の例では、主に水深5.5メートル程度から80メートルの浅い海域で漁獲されています。3メートルの浅いところまで入ってくる可能性もあるのに注意する必要があります。最も危険なもの(一つとして、ボートなど襲うこと)として、多くの人間襲撃事件があります。また、血の臭いには敏感であり、金紙や銀紙で作ったお星様を頭につけ、「わが家の七夕」と題して、ミニスケル講演、3・4

山本長松氏 受章記念碑を建立



九町駐公園の近くに建立された受章記念碑。春の叙勲で勲四等瑞宝章を受章された山本長松氏の受章記念碑の除幕及び祝賀会が、6月22日、関係者約200名が参加し取り行なわれました。記念碑は、九町越公園の北側に建てられ、建立された。山本長松氏自身の手によって除幕が行なわれました。

お年寄りの招き七夕集会

水ヶ浦小

7月10日、水ヶ浦小学校の体育館に、中之浜・大浜両地区から約20名のお年寄りが集まり、児童らと楽しい一日を過ごしました。早朝から、お年寄りが七夕飾りのために準備した笹は、児童が思い思いの願い事を書いた短冊で、見る見るうちにいっぱいになりました。

その後、児童は6つのグループに分かれて、おじいちゃんから「竹とんぼ」の作り方を教わりました。おばあちゃんから七夕飾りに使う「綱の目飾り」の作り方を熱心に教わっていました。

1・2年が金紙や銀紙で作ったお星様を頭につけ、「わが家の七夕」と題して、ミニスケル講演、3・4



歳時記

逃げ水

夏の日差しが強い日に、車を走らせていると、前方に水たまりがあるように見えます。しかし、車が進むにつれて、その水がどんどん先のほうに逃げていってしまう経験をしたことはありませんか。これが逃げ水です。地鏡、偽水面などともいいます。若い人は、ロード・ミラーと呼んでいます。

逃げ水は、強い日差しで地面に近い空気が暖まり、その上にある空気との温度差が大きくなって、空気に密度の差ができ、光の屈折なども加わって起きる現象です。道路に水たまりがあるように見えるのも、このためです。これはしんきろうの一種で、舗装道路だけでなく、砂漠や草原でも起きます。ナポレオンが、エジプト遠征のとき砂漠でこれを見て、オアシスと間違えた話は有名です。

逃げ水は、俳句の夏の季語にもなっています。また、武蔵野の逃げ水は古歌にも詠まれ、「東路にありといふなる逃げ水の 逃げ隠れても 世を過すかな」(未木和歌抄)という歌も残っています。

ところで、どんな道路に逃げ水が現れやすいのでしょうか。日本道路公団広報室の話によると、「白舗装(コンクリート)よりも、黒舗装(アスファルト)のほうが熱しやすいので、逃げ水が見えることが多いのでは」とのことです。

8月10日は「道の日」、そして8月は「道路」です。魅たつた力ある地域づくりの役割などについて、みんなで考えましょう。



わが家君
西村 宗



このため、年金の支払い順序である社会保険庁では、年金受給者サービスの向上を図るため、年金の支払い日である15日が休日に当たったときに

持ち家の建設には
公庫資金を

県では、公庫資金を利用して持ち家を建設する方のために公庫融資とあわせて融資を行う制度と、公庫資金で木造住宅を新築する方(購入を含む)に利子補給を行う制度を設け、利用を呼びかけています。

「あと少しお金があれば、家を建てられる。」と思っている皆さん、多に利用してください。詳しいことは、県土木部建築住宅建設指導課、または受付金融機関(伊予銀行、愛媛銀行、県信用農業協同組合連合会の各本支店)の窓口へお問い合わせください。

- 持ち家住宅建設促進基金
 - (1) 貸付限度額 300万円
 - (2) 住宅購入 200万円
 - (3) 貸付利率 年利5.5パーセント
 - (4) 受付期限 平成5年3月31日まで
- 優良木造住宅建設促進資金
 - (1) 利子補給限度額 公庫から借り入れた資金のうち、200万円を限度とし、残元金の2パーセントを乗じて得た額
 - (2) 利子補給期間 第1回目の償還日の属する月から起算して5年間

町内の交通事故 (7月1日現在)

発生件数	43件
(6月)	9件
負傷者数	15人
(6月)	4人

この時期、月遅れのお盆をふまえて通二そうと帰省客の車で道路はまなばいになります。車ののろろ運転、こんな時、車を運転する人が、暑さと疲労のため寝むたくなったら、さあ大変。お盆をみんなで楽しく迎えるために、交通安全に心がけましょう。

伊方・町見駐在所

県からのお知らせ
完全週休2日制に

県では、7月7日から完全週休2日制を実施しています。これに伴い、単庁や地方局などの出張機関は、7月第2週から毎週土曜日が休みとなります。単立病院も7月25日から毎月第2・第4土曜日の外来診療は受けられません。

お礼

大阪府松原市大美西1丁目3の3にお住まいの井上テロ子さん(豊之浦出身)から3万円。広報編集費用にご寄附いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

人の動き

7,872人 | 男3,838人(-2人) | 女4,034人(-11人)



水の日(8月1日)
水の週間(8月1~7日)



水は、生活水準の向上や経済の発展など、わたしたちが生活していくうえで非常に大切なもの。この機会に、水のありかたを改めて考えよう。

自衛官募集

自衛隊では、陸上、海上、航空の自衛官を募集しています。一、応募資格 18歳以上27歳未満 二、身分 特別職国家公務員 入隊を希望される方は、投函総務課(TEL381-0211)、または、自衛隊愛媛地方連絡部(TEL0899-141-8381・8382)へお問い合わせください。

えんむすび

平成4年5月1日
5月31日
氏名 本籍地

お誕生おめでとう
よい子に
育ってください

平成4年5月1日
5月31日
氏名 続柄 児名

おくやみ

平成4年5月1日
5月31日
死亡者 年齢 住所

保護者 続柄 児名

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

ふれあい

いかた

教育だより

〔発行〕
伊方町教育委員会
〔編集〕
社会教育課
〔印刷〕
豊 豫 社



日頃鍛えたワザで慎重にねらいを定めるベタンク

地域に根ざしつつあるミニミニテニススポーツを基盤とした町民スポーツ・レクリエーションの柱となる大会として六月二十一日、伊方中学校、伊方小学校を会場に伊方町スポーツ・レクリエーション祭92が開催されました。参加選手八百余名が、レクバレー、ベタンク、ゲートボールを楽しみ交流を深めました。

スポレク祭92で 三世代交流 八百人が軽スポーツに親しむ

起源のナゾ 25

ウンともスンとも

江戸は元禄時代ごろにはやった南蛮カルタに「ウンスカルタ」がある。

ウンsumは第一、スンsumは最高の意味である。

だまりこくってただの一言も口にしないことを「ウンともスンともいわない」というが、これは、ウンスカルタが語源となっている。

また、「ピンからキリまで」という言葉があるが、これもウンスンと同じポルトガル語で、pinta(点)とcruz(クルス・十字架)の語が転じて、ピンは一、クルスは十の意味となった。

〔光文書院
=起源のナゾより=〕



この日、梅雨時期にしては、めずらしく晴れわたり、スポレク祭にふさわしい好天に恵まれ、八百余名の選手が集まる中、盛大に開会式が行われました。開会式では、実行委員長、来賓の方々のあいさつの後、三世代を代表して、菊池友成くん、兵頭富子さん、山本満男さんが力強く選手宣誓したレクバレー

誓をしました。その後、各種目毎の会場に別れ一斉に競技しました。ベタンク会場の伊方中グラウンドでは、小学生、老人、一般男子、一般女子の四部門に昨年より四チーム上回る七十



三世代の代表が元氣よく選手宣誓

六チームが出場。グラウンド一面に設けたコートで競技がはじまり会場の随所で歓声が上がっていました。ゲートボール会場の伊方小グラウンドでは十九チームが出場、日中、陽差しがさし込む中、コート内では、暑さを感ぜさせない程、はつらつとしたプレーを行い、日頃鍛えた体力と技を生かし、どの試合も熱戦が繰り広げられていました。レクバレー会場の伊方中体育館では、十六チームが出場しました。最近、特にこのレクバレー熱が盛んになっており、今大会も白熱した試合が多く見られました。レベルの高いチームが多い中、チーム力に優る伊方越が四連覇を成し遂げました。各種目の結果は次のとおりです。

- (ゲートボール)
 - ①須賀 ②畑A ③畑B
- (レクバレーボール)
 - ①伊方越 ②小中浦 ③大浜
- (ベタンク)
 - ▽小学生の部
 - ①大浜 ②川水田 ③中浦
 - ▽老人の部
 - ①川水田 ②湊浦 ③川水田
 - ▽一般女子の部
 - ①豊之浦 ②須賀 ③奥
 - ▽一般男子の部
 - ①亀浦 ②湊浦 ③豊之浦

平成4年度 生涯学習推進大会

生涯学習の推進について共に語ろう!

- とき 平成4年8月30日(日)
- ところ 伊方町中央公民館
- 主催 伊方町/伊方町教育委員会

毎月第2日曜日は「家庭の日」です

8月のテーマ

“体をきたえよう 先祖をうやまおう”

〔実践方法〕

- 家族そろって戸外活動を行い、体力をきたえよう
- 朝夕先祖への拝礼を行い、祖先について話し合おう

次代を担う子供の健全育成を!

平成4年度伊方町PTA指導者研修会開かれる



加藤PTA会長のあいさつで始まった開会行事

PTAの本質的な在り方を確かめ、活動を展開するうえで、課題を見出し、実践方法の在り方について研修し、指導者として資質の向上を高めようと、六月二十一日、中央公民館において平成四年度伊

方町PTA指導者研修会が開かれ、PTA会員、関係者百二十余名が参加して行われました。

開会行事終了後、四分科会が設けられ、単P、支部P、学級P、専門部の役員がそれぞれに別れて、役員としての役割と実践はどうすればよいかについて熱心に討議が進め

られました。又、今年の九月から施行される学校週五日制に関する諸問題についても共通課題として上げられ、それらの対応策も併せて話し合いました。

続いて行われた講演会では元県PTA連合会副会長・伊予木材社長、井関和彦先生を講師に招き、「PTA活動に期

待すること」と題して話されました。先生は、人間教育の根本は家庭教育にあり、親のあり方、家庭のあり方は、(1)明るい平和な家庭づくり(2)しつかりとした筋の通った考え方、生き方の手本を示す(3)両親が等しく役割を果たす(4)子供の個性と能力にあった道を見出す(5)道徳・徳を身に付けさせる

と講話され、参加者は熱心に聞き入っていました。伊方中、町見中の記録を抜粋して掲載します。

六月二十六日、三瓶中学校グラウンドにおいて、平成四年度西宇和郡中学校陸上競技大会が行われました。

本町からも、伊方、町見の両中学校が出場し、坪内隆典君(町見中)が百メートルで大会新記録、堀内英一郎君(町見中)が百メートルで大会タイ記録を達成するなど健闘が目立ちました。

郡中学校陸上競技大会開かれる

- ▽八百メートル(共通) ④田中浩和(伊方) 2分16秒4
- ▽三千メートル(共通) ③坪田和樹(伊方) 10分36秒5
- ▽八百メートル(共通) ①伊方1分42秒8
- ▽走高跳(共通) ③城岡彰(町見) 1.158
- ▽走幅跳(共通) ④亀井節也(伊方) 5.160
- ▽三段跳(共通) ③井上敏士(町見) 10.74
- ▽三種競技A(共通) ②江泰光(伊方) 二二二〇

強い日差しの中、選手の皆様は汗だくでアレーし、各チーム熱戦を繰り広げた結果、決勝は、強打が光り物の向チームと投打にバランスのとれた田之浦チームの対戦となり、先攻の田之浦チームを向チームが追い上げる形で試合が進みわずかの差で田之浦チームが逃げ切りV2を達成しました。結果は次の通りです。

- 一位 田之浦
- 二位 向
- 三位 奥A
- 西

伊方スポーツ少年団3年連続V

七月二十二日、伊方中学校グラウンドで第十九回スポーツ少年団ソフトボール大会が開催されました。

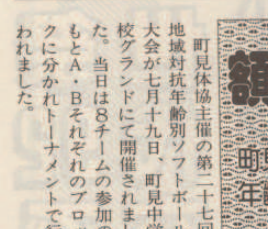
この日は、やけつくような暑い日さかりの中で大会になったが、選手達は日頃より鍛えている体力を生かし、元氣一杯アレーしていました。

試合は、町内のスポーツ少年団から七チームが参加しておこなわれ、一回戦は大きな差のつく試合となったが、準決勝にもなる、追いつく追われつつの一点を争う接戦と

なりましたが、優勝は好投手を擁する伊方Aが三年連続優勝を成し遂げました。

一回戦からの対戦成績は次のとおりです。

- (一回戦)
- 伊方B 10-5 豊之浦
- (二回戦)
- 水ヶ浦 12-0 九町B
- 九町A 7-0 伊方B
- (準決勝)
- 伊方A 4-3 水ヶ浦
- 二見 4-3 九町A
- (決勝)
- 伊方A 4-0 二見



投げる、打つのが好ゲームで優勝した伊方Aチーム

町見体協主催の第二十七回地域対抗年齢別ソフトボール大会が七月十九日、町見中学校グラウンドにて開催されました。当日は8チームの参加のもとA・Bそれぞれのプロテクに分かれてトーナメントで行われました。

熱心に討議される分科会場

強い日差しの中、選手の皆様は汗だくでアレーし、各チーム熱戦を繰り広げた結果、決勝は、強打が光り物の向チームと投打にバランスのとれた田之浦チームの対戦となり、先攻の田之浦チームを向チームが追い上げる形で試合が進みわずかの差で田之浦チームが逃げ切りV2を達成しました。結果は次の通りです。

- ▽四百メートル(共通) ①金澤雄剛(伊方) 56秒7
- ▽二百メートル(共通) ①坪内隆典(町見) 24秒7
- ▽二百メートル(共通) ②井上敏士(町見) 25秒9
- ▽四百メートル(共通) ①金澤雄剛(伊方) 56秒7
- ▽二百メートル(共通) ③黒田勝俊(伊方) 57秒7

白熱した試合で優勝した田之浦チーム

家庭の教育力を高めるために

支え合いは夫婦から 夫婦げんかは 子供を駄目にする

「ある中学生の作文」
ぼくは、おとなのけんかくらい、わけのわからぬものはないと思う。何でもないこと、始まる上に、その起こるや疾風の如く、とんでもないところまで発展する。

ぼくの家では、よく夕飯のとき起こる。タクアアがよく切れないといっていて、お父さんがアツアツという、お母さんが「あなたの月給いくらだと思っんですか」という。あんなすりへったまな板の上で、切れない包丁で切れば、タクアアがつながって切れるのはあたりまえなのに、とんでもないことを言い出してけんかになる。

そして、夕飯がすんだあとまで、重苦しい空気がこる。そんなときは、妹はブイと立って、机に向かって本を読むような様子だが、おなじ頁をあけているだけで頭には入らないらしい。

ぼくは、そっとぬけ出し、近所の友達の家へ行って、おそくまで遊んでくることにしている。

(東井義雄著) 「拝まない者 おがまいる(より)」

「アツアツ」が、少しも「しあわせ」に近づいたための歩みにならぬので、それはばかりか、子供までもダメにしていることを、この作文は教えてくれる。しかも、これは他人事ではないのである。

夫婦和合に努力する 辛抱し合う

人間関係の基本は辛抱である。夫婦の間で、お互いに言ってほらない言葉がある。

つまり「禁句」である。「安月給」「飲み助」などは、お父さんが言ってもらいたくない言葉である。お母さんも「おたくふく」「だからしない」などは言ってもらいたくない。

相手の言ってもらいたくない言葉が出そうになったとき、そこにいると出てしまふ。

口を閉じてその場を離れるのである。つまり、空間的に「間」をあけるのである。

今一つは、時間的に「間」をつまめることである。

つまり、一晩寝るとか、台所へ行って水を飲むとか、また十数分だけの余裕をもつことである。このようにすると、言わないですむ場合が多くなるのは不思議である。

言葉をかけ合う



傍観者にならない同和教育を重点課題に

平成四年度 地区別同和教育懇談会はじまる

今年度も川永田地区をトップに「地区別同和教育懇談会」が始まります。

私たちの日常生活の中で、もっとも深刻にして重大な同和教育のすみやかな解決をめざして、町民一人ひとりが、同和教育の正しい理解と認識を深めるための学習会です。

◎同和教育を正しく認識するとは、どういうことなのか。

(1)部落は、いつ、誰が、何のために、どのようにして作られたのか(差別の歴史の認識)

(2)対象地域は、近代社会の中でどのように残されてきたか、それは何が、誰が残したのか(差別の歴史の認識、社会的認識)

(3)対象地域は、現在どのようになっているか、それは国民全体のくらしとどうかかわっているか(差別実態の客観的認識)

(4)差別を解消するにはどうしたらよいか、それに国民一人ひとりがどうかかわっていくべきか(国民的課題としての主体的認識)

今後の開催予定地区 (7月24日現在)

7月27日(月)	川永田(一)	19:30-
28日(火)	畑	20:00-
8月5日(水)	中 浦	19:30-
7日(金)	中 豊	19:30-
19日(土)	の 奥	19:30-
22日(日)	仁 田	19:30-
22日(日)	河 内	19:30-
28日(土)	中 浦	19:30-
29日(日)	小 湊	19:30-
30日(日)	大 津	19:30-
9月8日(火)	大 津	19:00-
18日(水)	大 津	19:00-
20日(金)	大 津	19:30-

野外活動で 少年リーダー養成

室鼻公園で1泊2日の団体生活



七月二十三日(木)、二十四日(金)の二日間にわたり、室鼻公園(コーストMURU)において教育委員会主催による、少年団体リーダー養成講座が行われた。

夏の太陽が照りつける中、町内六校の小学生、三十名が先生に引率され、元氣よく集まった。

阿部喜光社会教育課長のあいさつに続き、自己紹介を行い、少年団体リーダー養成講座がスタートした。

午後は水泳、テント設置、はんごう炊飯、キャンプファイヤーなど、みんなで協力して楽しく活動するなかで、リーダーとして大切なことを学びました。

また二十三日は大浜の和霊様の夏祭り、遠くに花火の音を聞きながら、テントでの夜をすごしました。

以下、参加した児童の感想を紹介いたします。



冷たい潮風を受けて…悪戦苦闘のはんごう炊飯

私は、このリーダー研修会へ来て、知らなかつた人と友達になり、仲良くなりました。そして、友達と夜おそくまで起きて話したりしました。

今までは、人前に出たりするのが苦手だったけど、キャンプファイヤーの班の出し物を作ったりして少しは勇気を出して実行できるようになりました。

研修会に来てよかったと思います。楽しい二日間でした。

三班の感想
玉井 幸範

三班でおもしろかつた事は、テント設置です。どんな事かと言うと、「べんテントを組み立てたんだけど、金棒が上下反対だったりしておもしろかつた。それに、時々テントが飛ばされたら、さかさになつたりして、大変でした。

出し物を決めたりする時は、ほかの班はあまり参加していません。私達に、町内全地区で実施されます。

すでに七月二十七日(月)の川永田地区をトップに十三地区の学習会日程が決まっています。のちほど、ご案内のチラシが各戸に配られると思いますが、その際には、多数の方々のご参加をお願いします。

「お父さん、ホール投げしようよ」と、時折、福宅したばかりの父をつかまえて外へ連れ出そうとする。すると、いつも母は笑いながら、「もう夕方よ、よしなさい。お父さんはお疲れよ」と、プレーキをかける。

しかし、そのたびに、父は着替えたシャツ姿で腕を廻しながら言うのだった。

「よし、ちよつとならいいぞ。やろっ」

そして、私の額を指で軽くつついて、「こいつめ、お前の笑い顔を見ると、疲れも吹き飛んでしまふよ」

これは、「日本の父」の中の一節である。

母親の「もう夕方よ、よしなさい。お父さんはお疲れよ」の言葉には、父親へのいたわりが痛いほどわかる。とともに、思いやりの大切さを子供に教えている。

「お父さん、ホール投げしようよ」と、時折、福宅したばかりの父をつかまえて外へ連れ出そうとする。すると、いつも母は笑いながら、「もう夕方よ、よしなさい。お父さんはお疲れよ」と、プレーキをかける。

しかし、そのたびに、父は着替えたシャツ姿で腕を廻しながら言うのだった。

「よし、ちよつとならいいぞ。やろっ」

そして、私の額を指で軽くつついて、「こいつめ、お前の笑い顔を見ると、疲れも吹き飛んでしまふよ」

これは、「日本の父」の中の一節である。

母親の「もう夕方よ、よしなさい。お父さんはお疲れよ」の言葉には、父親へのいたわりが痛いほどわかる。とともに、思いやりの大切さを子供に教えている。

ビデオを見ながら教養を身につけてみませんか

ただいま受講生募集中

八幡浜地方局では、生涯学習のより一層の推進を図るため、「ビデオ・カレッジ」を開講します。

参加御希望の方は、次の要領によりお申し込みください。

1. 内 容 (1)講座名 日本の自然(自然と歴史的風土、日本列島の気候と特色など)
- (2)講 師 深石一夫(愛媛大学法文学部 教授)
- 高橋治郎(愛媛大学教育学部 助教授)
- (3)開講日 10月3日(日)、11月10日(日)、10月17日(日)、10月24日(日)、11月7日(日)
2. 講義時間 13時30分から16時30分
3. 会 場 八幡浜市民図書館 視聴覚室(2F)
4. 受講料 無料です。ただし、教材費などの実費については、御負担いただきます。
5. 修了証 5回のうち4回以上出席した者に、修了証を授与します。
6. 申込期間 9月21日(日)締切。
7. 定 員 30名(先着順です。18歳以上の方ならどなたでも受講できます)
8. 申込方法 「往復ハガキ」に住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記して申し込みください。
9. 申 込 先 八幡浜地方局県民生活課(八幡浜市松柏乙1101) TEL0894-22-4111内線222



「ぞちじゃない、こつちじゃ」とすいかわりゲーム

たいいの母親は、「お父さん、ちよつとぐら子供と遊んでやってください」というところであらうが……。

夫婦は、お互いに愛情を惜しんでおられない。外から帰った人に対して、「ご苦労さん」「お疲れさん」と、やさしい声で、聞こえるように言い合つてほしい。どのくらい心が和むかわからない。

このようないわりの心をかけないから、「疲れた」「疲れた」を連発するのである。

少しだけよ、お父さんはお疲れよ!

学校週5日制

9月12日から毎月第二土曜日が休業となります

学校週5日制とは、これから21世紀に生きる子供たちには、新たな文化を創造するため、豊かな個性や創造性を培うことが求められています。

今日の子供の状況をみると、無気力や引きこもりが増え、子供が増えているのではなく、また、人間関係が希薄になったり、自然体験が不足したりして豊かな心が育っていないのではないかと言われています。

家庭においては、子供が親との生活を通して生き方を学んだり、生活する知恵を身に付けたりすることが大切です。

第一土曜日を省いて、休日に家庭のふれあいを大切に、地域社会では、異年齢の子供同士による遊び、自然とのふれあい、スポーツや文化活動、奉仕活動など、豊かな体験の場や機会の充実を図ることが大切です。

地域社会全体で子供を見守り、育てていきましょう！

学校週5日制の導入は、このような課題を解決するために、学校、家庭及び地域社会が一体となって、それぞれの教育機能を発揮する中において、子供が自分で考え、主体的に判断し行動できる資質や能力を身に付けるようにする

口碑と立ちばなし ⑲

(仁田之浜)

中元若松翁頌徳碑



仁田之浜の敬祖公園内に、門福太郎翁と並ぶかのように、中元若松翁頌徳碑がある。

碑面には、
中元若松翁頌徳碑
農林大臣 長谷川四郎書
と筆跡あざやかに刻されている。なお、頌徳碑の裏面には、翁の為人が次のように記されていた。

翁は、明治二十二年(一八九)三月一日当地にて出生。長じて消防組長、部落道整備委員長、負債整理組合長、養蚕組長、伊方町議會議員、日本相撲協会免許頭取職、港湾建設委員長等、幾多の要職に就き、特に昭和初期に襲った猛烈な農村恐怖に対し、敢然と立って負債整理組合を結成し、自ら長となって部落住民の生活を保護した。

また、港湾施設を永年巨匠として計画見事完成させ、当地海運と育成、今日の隆昌を見る等、生涯地方の柱石として尽きた。依つて此処に其の功を永遠に記す。

昭和四十四年四月吉日とあり、翁の功績を称え建立されたそうである。

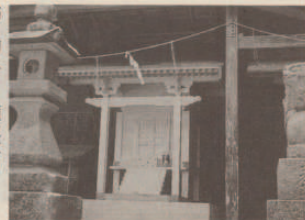
また、翁の若き時代は、海軍の軍人として愛国心に燃え、祖国日本の為に活躍され、なかでも海軍時代の相撲競技大会では、勇者の名を馳せたそうである。翁の米歴にもあるように、常に地域の為に先頭にあり、勇気を出して困難に立ち向かっていたと聞く。

ときに、翁は九十歳の天寿をまっとうされたという。

お国だより

八尺神社の末社 一ノ宮社殿 新築される

新築される



川水田の篠宮に八尺神社が地区の氏神として、古くから鎮座している。通称「祇園さま」で広く知られたお宮でもある。今年七月十三、十四日に夏祭りが行われ、併せて町づくりイベントも盛大に行われた。地区の役員会で八尺神社の末社が古くなり、特に昨年の九月に十九号台風で、由緒ある一宮社が壊れたのを機会に再建の話題が出た。

幸いにも、川水田出身で東京都在住の方からご寄進があったり、新しく再建された。

この一宮社は「宇和旧記」に次のように掲載されている。

一宮棟記「大旦那宇宮藤原守綱 並哉女此宮造立故也」天文十七年(一五四八)戊申

霜月初八日 願主敬白
同日記に当社にまつわる蛇の伝記も記述されている。

「一宮の蛇」
此一の宮へ、むかふの宮より、毎年二月の末三月初に、海上を渡り来る蛇あり、浪打ち

人材育成基金助成希望者募集中

平成4年度後期(9月末までに)人材育成基金助成希望者を募っています。補助対象事業としては、学習や研修、資格取得等と「まちづくり」に寄与すると認められるもので、次の事業項目があります。

- 地域リーダー育成事業
 - 技術修得事業
 - 海外研修交流事業(町の指定する事業に限る)
- (詳しくは社会教育課まで)

短歌くらぶ

- 真珠湾になぞる三机湾しつまりて彼の日思ひつつ九軍神おろがむ 上野嘉子
- はつ夏のはにかむやうな風に触れ髪切るあとのうなじすずしも 宇都宮すみ
- 紫蘇の葉をもも扇辺に香の満ちて蛸徳びつつ梅漬けをする 岡山綱子
- 庭石の間に間に生ひしベゴニヤの花溢れ咲き梅雨に濡れる 梶田ミヨコ
- ほんのりとただよふ芳香に倚りゆけばグテラ一輪葉かげにゆるる 梶谷子代子
- 梅雨降りにはまひまひつぷるの出番きぬ「角出せ捨出せ」孫は歌へり 菊池朱見子
- 庭木々の刈り込みの音聞こえ来てハミングしつ朝納の文度 是沢美那恵
- 木の剪定終へてすつきり庭涼し使ひしく手忘れりたり 田中朝子
- 深緑の山々なべて露こむる梅雨の大洲を過ぎてゆく時 武田峰生子

図書室

だより
夏休みこそ、読書の楽しさをおぼえてほしいものです。さまざま、ジャンルから一人でも多くの子どもが、本好きになり、読書によることは体験から、豊かな感性を育むことを願ひながら……



愛媛夏季大学のご案内

- とき 8月8日(土)19:30~
- ところ 伊方町中央公民館
- 演題 「日本語のすばらしさ」
- 講師 金田一春彦先生(国語学者)
- 受講料 300円

8月の行事予定

- 1日 婦人指導者研修会(中公)
- 1日 民謡講習会(中公)
- 3日 わんぱく学級〔親子料理教室〕(中公)
- 5日 九町老人大学(町外)
- 8日 愛媛夏季大学(中公)
- 中旬 亀ヶ池老人大学(中公)
- 下旬 紅梅学級(町外)
- 下旬 婦人学級(中公)
- 30日 生涯学習推進大会(中公)



'92.8月

くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

9 月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	14	⑮	16	17	18	19
⑳	21	22	㉓	24	25	㉖
㉗	28	29	30			

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
8月 1(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00 保健センター)	17(月)	■保育所調理師研修会(10:00~16:00 町民会館) ■オレンジ会(9:30~14:00 保健センター)
2(日)		18(火)	■家庭看護教室(13:00~16:00 大浜集会所) ○人権相談(10:00~15:00 町民会館)
3(月)	■わんぱく学級(9:30~14:30 町民会館)	19(水)	■栄養学級①(9:30~12:00 鳥津集会所) ■健康相談(13:00~14:30 鳥津集会所) ○心配ごと相談(13:00~17:00 町見公民館)※弁護士さんもきます。
4(火)	■健康相談(10:00~11:30 奥集会所) (13:30~15:00 須賀集会所) ○夏季大学(19:30~ 町民会館)	20(木)	■乳児健診(13:00~14:30 保健センター)
5(水)	■糖尿病教室(9:30~15:00 町民会館) ○心配ごと相談(13:00~17:00 町民会館)	21(金)	■リハビリ教室(13:00~15:30 保健センター) ○給食サービス(13:00~17:00 二見公民館)
6(木)	■母と子の料理教室(9:30~15:00 室鼻研修センター)	22(土)	役場土曜閉庁日 ※役場が休みになります。
7(金)	■リハビリ教室(13:00~15:30 保健センター)	23(日)	
8(土)	役場土曜閉庁日 ※役場が休みになります。	24(月)	■健康相談(10:00~11:30 町見公民館 畑) (13:00~14:00 町見公民館 向)
9(日)		25(火)	■九町リハビリ教室(13:00~15:00 ワークいかに) ■健康相談(10:00~11:30 豊之浦集会所) (14:00~15:00 大成集会所) ○税の徴収(9:30~12:00 向公民館)
10(月)		26(水)	■3歳児精密相談(八保) ○税の徴収(9:30~12:00 大成老人憩の家) (13:00~15:00 鳥津公民館)
11(火)	■健康相談(10:00~13:00 保健センター)	27(木)	■基本健診(9:30~15:00 大浜集会所) ○税の徴収(9:30~12:00 二見公民館) (13:00~15:00 田之浦公民館)
12(水)	○巡回一日赤十字(9:00~14:00 町民会館)	28(金)	■基本健診(9:30~12:00 大浜集会所) ■結核検診(13:30~14:30 役場前) ○給食サービス(13:00~17:00 町民会館) ○税の徴収(9:30~15:00 豊之浦集会所) ★不用犬回収日(役場・町見支所て受付)
13(木)	■リハビリ訪問(13:30~15:30)	29(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00 保健センター)
14(金)		30(日)	
15(土)	■母子健康手帳交付(9:00~11:00 保健センター)	31(月)	■あじさいの会(13:00~15:30 保健センター)
16(日)			

♣夏の脳こうそくに気をつけよう♣

脳卒中の発作は冬に多いと思われていますが、意外に夏にも起りやすいのです。
特に脳梗塞はこの季節に多いため、冬同様に注意が必要です。

— なぜ夏に起りやすいのか —

夏に脳梗塞の発作が多いのは、発汗も関係しています。暑い夏には多量の汗をかきます。汗が出て身体の水分が減ると、血液中の水分も減り血液が濃縮されます。濃縮された血液は粘りが出にくるため、脳の細い血管が詰まりやすくなります。

— のどが渇いていなくても水分をとる習慣を —

夏の脳梗塞予防の第一の注意点は、さらさらとした流れやすい血液を保つために常に十分な水分を補給しておくことです。
高齢者は、若い人と違ってあまりのどが渇きを自覚できないので意識的に水分を補給する習慣をつける必要があります。夜トイレにおきるのがいやなため、寝る前に水分をとるのを避ける人も多いのですが、寝る前にコップ一杯のお茶や水を飲むことが予防につながります。



家庭は心のやすらぎの場

《みんなで守ろう》 小・中・高校 校外生活共通のきまり

愛の手ですくすく伸びる伊方っ子

		小学生	中学生	高校生
外出服装	服装	<ul style="list-style-type: none"> ○名札をつけること ○派手な服装をしないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○制服、制帽(女子は胸章)を着用し、左胸に名札をつけること 	<ul style="list-style-type: none"> ○原則として制服を着用すること
	夜間外出時間	<ul style="list-style-type: none"> ○お帰りの時間(放送)までにかえること ○日没以後は外出禁止 ○やむをえない夜間外出は保護者またはそれに代わる者が同伴のこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○日没までには必ず家に帰ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○午後9時以後は外出禁止(女子のひとり歩きは禁止)
遊	遊	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者またはそれに代わる者が同伴で午後10時まで 	<ul style="list-style-type: none"> ○午後10時までに帰宅すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○午後10時までに帰宅すること
	遊	<ul style="list-style-type: none"> ○行き先、帰宅時刻などを家人に告げ、許可を受けること 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険な場所での遊び [道路上、材木置場、砂利置場、高圧線付近、] [その他危険と思われる所では遊ばない] 	<ul style="list-style-type: none"> ○危険な遊び [火薬(打ち上げ花火・爆発性の花火)、ゴム銃・ヤス・刃物の持ち歩き、] [火遊び、路上でのローラースケート・スケートボード・ラジコン、] [シンナー・ボンブ遊び、その他] ○かけごと、その他不健全な遊び ○指定地域外での水泳
立入り禁止されている場所	立入り禁止されている場所	<ul style="list-style-type: none"> ○亭楽を目的とする喫茶店及び飲食店 ○パチンコ店、ボーリング場、テレビゲーム場、ビリヤード場、競輪場 ○その他、不適当な場所 	<ul style="list-style-type: none"> ○モーターボート ○午後7時以後の貸しボート 	<ul style="list-style-type: none"> ○モーターボート ○午後7時以後の貸しボート
	立入り禁止されている場所	<ul style="list-style-type: none"> ○善行、非行、事故などを見たときは直ちに学校へ知らせましょう ○乗用車、單車等の便乗はやめましょう ○私服の着用については保護者として(派手にならないように)充分留意しましょう ○誤解されるような男女交際はやめましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に届け出て許可を得ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通規則を厳守すること ○自転車での重乗、並進、無灯火はしないこと ○無免許運転をしないこと ○旅行及びキャンプ等で家庭をはなれる場合は必ず保護者の同意書を学校へ提出し許可をえること
交通安全について		<ul style="list-style-type: none"> ○自転車でのきまりを特に守ること ○夜間は自転車に乗らないふたり乗り、並列進行はしないこと ○子どもとして自転車の遠乗りはしないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通規則を厳守すること ○自転車でのふたり乗り、並列進行、無灯火はしないこと ○生徒どうしのサイクリングはしないこと ○自転車に乗る場合は必ずヘルメットを着用すること ○単車に乗らないこと(中学生は免許がありません) 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通規則を厳守すること ○自転車での重乗、並進、無灯火はしないこと ○無免許運転をしないこと ○旅行及びキャンプ等で家庭をはなれる場合は必ず保護者の同意書を学校へ提出し許可をえること
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○善行、非行、事故などを見たときは直ちに学校へ知らせましょう ○乗用車、單車等の便乗はやめましょう ○私服の着用については保護者として(派手にならないように)充分留意しましょう ○誤解されるような男女交際はやめましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に届け出て許可を得ること 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通規則を厳守すること ○自転車での重乗、並進、無灯火はしないこと ○無免許運転をしないこと ○旅行及びキャンプ等で家庭をはなれる場合は必ず保護者の同意書を学校へ提出し許可をえること

お願い ○小・中・高校生を持たない家庭へもご協力を願うため配布しています。
地域のみなさんで青少年の健全育成につとめましょう。

受講申込書

伊方町地域振興センター所長殿

平成 年 月 日

下記のコースの受講を申し込みいたします。

ご希望のコースを○でお囲みください。		1. 表計算利用コース(開講日9/1)	
		2. 情報処理入門コース(開講日9/2)	
フリガナ	生	年	月
氏名	印	年	日
住所	TEL	性別	男・女
受講の動機			
職業及び勤務先			
保護者フリガナ			
氏名			
住所			印
備考	受講料納入方法(情報処理入門受講希望の方) 1. 1回で全額(50,000円)を納入 2. 2回(25,000円づつ)で納入		

※「職業及び勤務先」欄、学生の方は学校名、学科、学年を記入してください。
※未成年者の方は、保護者欄も記入ください。

調査表

回答は、それぞれの質問に用意されている選択肢の中から該当する番号を○で囲み、指定枠の中に内容を記入してください。

- コンピュータの保有状況
今現在、コンピュータ(ワープロを含む)を持っていますか。
1. 有 機種名は何ですか。() 機種名()
2. 無
- コンピュータの利用経緯
これまでに、コンピュータ(ワープロを含む)を使ったことがありますか。
1. 有 経験年数はどれくらいですか。()年
2. 無
- プログラミングの経緯
これまでに、コンピュータのプログラミングをしたことがありますか。
1. 有 (1) 経験年数はどれくらいですか。()年
(2) どんな言語でプログラミングをくみましたか。()
2. 無

表計算利用コース

概要 ●市販の表計算ソフト(マルチプラン)を使用して、簡単な表計算から、各種集計表、統計表の作成方法や効率的な利用方法について演習をとして学習します。

開講期間 ●平成4年9月1日(火)～10月22日(木)(約2ヶ月間)

定員 ●20名

開講日 ●日程表のとおり

開講時間 ●午後3時30分～午後9時30分(3時間)

受講料 ●20,000円(消費税及び教材を含む)

申込受付期限 ●8月20日(木) <必着のこと>

受講対象者 ●パソコン(ワープロを含む)を使ったことのある方

開催場所 ●伊方町地域振興センター 3階 パソコン教室

受講料決定 ●通知書をもって、決定いたします。

受講料納入 ●受講決定後、納入通知書により納入していただきます。

申込方法 ●裏面の申込書・調査書をご記入の上、郵送(8月20日必着)または持参ください。

情報処理入門コース

講座概要 ●本講座は従来行われていた情報処理技術者養成講座の期間を4ヶ月に短縮し初心者を対象として、コポル言語(事務処理言語)の基本的知識と初歩的利用技術の習得を目標とします。

開講期間 ●平成4年9月2日(水)～12月7日(月)(約4ヶ月間)

定員 ●16名

開講日 ●日程表のとおり

開講時間 ●午後6時30分～午後9時30分(3時間)

受講料 ●50,000円(消費税・教材含む)(2回での分割納入可)

申込受付期限 ●8月20日(木) <必着のこと>

受講対象者 ●初心者

開催場所 ●伊方町地域振興センター3階CA1教室

受講料決定 ●通知書をもって、決定いたします。

受講料納入 ●受講決定後、納入通知書により納入していただきます。

申込方法 ●裏面の申込書・調査書をご記入の上、郵送(8月20日必着)または持参して下さい。

問い合わせ/〒796-003 西宇和郡伊方町川永田
伊方町地域振興センター
TEL 0894-38-2288

